



301.7 CR / 302 CR

後方超小旋回型ミニ油圧ショベル



掲載写真は海外仕様で国内仕様と一部異なります。

	301.7 CR	302 CR
機械質量	1,830kg	1,955kg
標準バケット容量	0.044m ³	0.06m ³
エンジン定格出力	14.1kW	

国土交通省第3次基準値排出ガス対策型
国土交通省超低騒音型建設機械



あらゆる現場に、あらゆる用途に、
使い勝手を極めたこの1台

Customer Focused Design

国土交通省第3次基準値排出ガス適応

超低騒音

低燃費

NEXT GENERATION
301.7 CR / 302 CR
登場

業界初のテクノロジー

- オペレータを支援する新機能
- 作業機操作のチューニング
 - スティックステア ● クルーズコントロール

運転経費の削減

- 燃費 **最大10%*** 低減
- メンテナンス費用削減

*当社従来機比

充実の装備

- ブレードフロート機能
- クローラ幅機構
- ブーム背面シリンダ
- フロント配管内装化
- カラー液晶モニタ
- クラス初のキャブ&エアコン(302 CR)



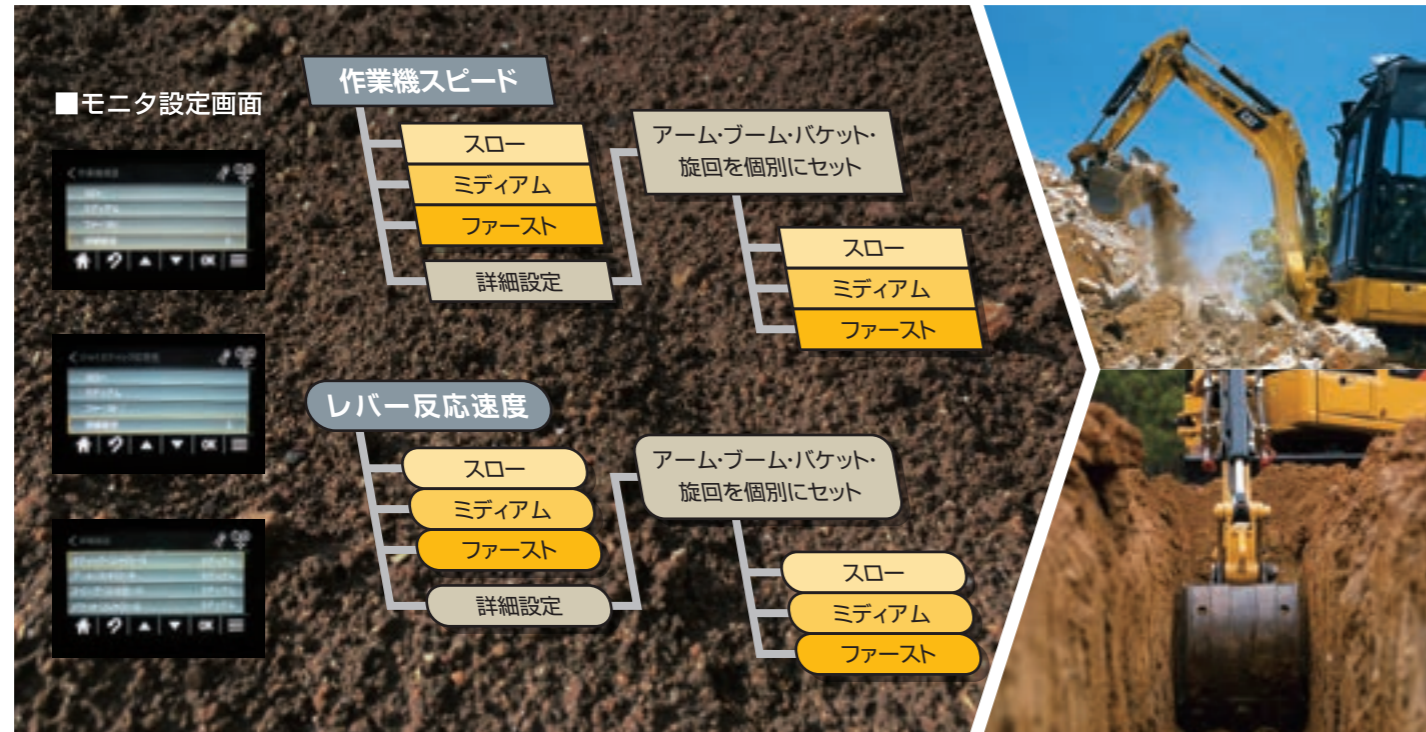
301.7 CR ソフトキャノピ仕様



302 CR キャブ仕様

掲載写真には海外仕様、オプション装備品が含まれている場合があります。本機はグロス出力が19kW未満のため、オフロード法規制対象外の車両となります。

業界初のテクノロジー



オペレータ好みの操作を実現。作業機操作のチューニング

ジョイスティックレバーからの電気信号を元にコントロールバルブの各スプールの動き、油圧ポンプの吐出量を電子制御する次世代型油圧システムを採用。作業機のスPEED、レバー反応速度を自在に変更でき、精密な流量制御により燃料消費量を軽減します。従来は固定だったブーム、アーム、バケット、旋回それぞれの作業機のスPEED、レバー反応速度を3段階ずつモニターで変更することができ、現場、作業にあわせたオペレータ好みの作業機操作チューニングが可能となりました。

レバーの持ち替え不要。左手1本で走行操作が可能なスティックステア

左ジョイスティックレバー1本の操作で走行（前後進、左右操向）が可能。現場間移動、ブレード整地作業等が楽な姿勢のまま、左手1本で走行操作でき、作業効率が高まり、オペレータの疲労軽減にもつながります。



●スティックステアモードのオン/オフの切替は左ジョイスティックレバー上のボタンで行います。モニター表示でオン/オフの確認ができます。



●右ジョイスティックレバーでのブレード操作も可能。通常のブーム・バケット操作とブレード操作の切替はモニター上でできます。

●ブーム、アーム、バケット、旋回まとめて、スロー/ミディアム/ファースト 3段階の設定が可能。ブーム、アーム、バケット、旋回それぞれ個別で、スロー/ミディアム/ファースト 3段階の設定もできます。

走行を伴う作業の効率アップ。クルーズコントロール

レバー操作なしで直進走行できるクルーズコントロール。スティックステアモード走行時に、左ジョイスティックレバー前側のボタンを押すとその時の走行状態を維持し、操作レバーを保持しなくてもそのまま走行できます。



●ブレード作業時に高い作業効率を發揮します。



運転経費の削減



低燃費を生む次世代型油圧システム

次世代型油圧システムの採用により、コントロールバルブの各スプールの動きや油圧ポンプの吐出量を、ジョイスティックレバーからの電気信号に合わせて電子制御します。流量の最適化が図られ、燃料消費量低減に貢献し、きめ細かな操作フィーリング、優れた連動操作性を実現。従来の油圧パイロットシステムにあったパイロットポンプ、ホースが無くなることで、エンジン出力をより有効活用でき、油圧パイロットラインの油漏れ等のトラブルがありません。さらに、コントロールバルブをはじめとして各油圧機器へのアクセス性も格段に向上しています。

燃料消費量 **約10%低減** (当社テストによる従来機比)

Cat C1.1ディーゼルエンジン

国土交通省第3次基準値に適合するCat C1.1ディーゼルエンジンは、クリーンな排出ガスと燃料消費量低減を両立しています。EPA (米国環境保護庁) Tier4、欧州ノンロードディーゼル第5次排出ガス規制 (EU Stage V) をクリアする排出ガス性能を有しています。



定格出力 **14.1kW**
約**19%アップ**
301.7 CR (従来機比)



低燃費を実現する技術

- ▶パワーオンデマンド
「作業機」と「走行」のそれぞれの動作に適したエンジン回転数に自動制御。通常、最大エンジン回転数を燃費重視の2,400rpmに維持し、パワーが必要と判断した場合2,575rpmまで上昇させます。
- ▶電子制御油圧ポンプ
エンジンパワーを最大限に油圧馬力として使えるように油圧ポンプを電子制御します。
- ▶オートアイドルリングストップ
アイドルリング状態から一定時間経過するとエンジンを自動停止させ、燃費やCO₂排出量を低減させます。停止までの時間 (3分~15分、1分間隔) はモニターで設定できます。
- ▶オートアイドル (自動デセル)
3秒以上操作レバーが中立の場合、自動でエンジン回転数を1,000rpmに下げます。

メンテナンス費用を削減

① チルトアップキャノピ/キャブ



運転席フロアごとチルトアップでき、機体内部のコントロールバルブ、油圧ホース、旋回モータ、オルタネータ、バッテリー等各部の点検・整備を容易かつ短時間で済ませます。

①チルトアップ時の安定性を確保するブレースバー
②チルトアップ時ロック

② エンジンサービスドア



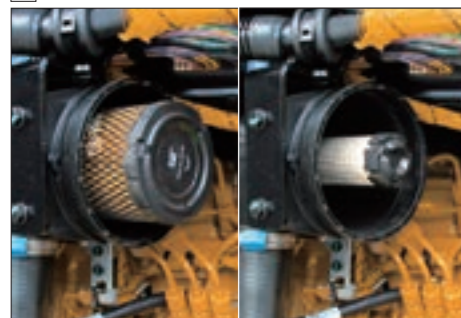
エンジン周りの日常点検、定期整備箇所へアプローチしやすい横開きのサービスドアです。

③ ラジエータ清掃



サイドカバーの開口が大きいのでラジエータの清掃が容易です。

④ ダブルエレメントエアフィルタ



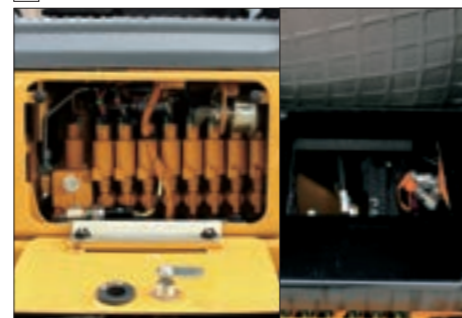
ラジアルシール式エアフィルタをダブルで使用しています。目詰まりが一目でわかるインジケータ付です。

⑤ メンテナンスフリーバッテリー



補水の手間が不要でロングライフのCat純正バッテリーです。

⑥ コントロールバルブ



運転席チルトアップ機能でバルブ全体の整備が可能。また、日常点検のアクセスはチルトアップせずに運転席フロアとサイドのカバーからもできます。

⑦ ウォータセパレーター型燃料フィルタ



燃料に混入した水やゴミを除去し、燃料系トラブルを未然に防ぐウォータセパレーター型燃料フィルタを採用しています。

⑧ ディスコネクトスイッチ



電気系統のON/OFFが行えるディスコネクトスイッチを装備しています。電気系統整備時の安全性を確保します。

⑨ SOSサンプリングバルブ



作動油やエンジンオイルのチェックが容易に行なえます。



長いメンテナンス間隔でコストダウン

500時間	<ul style="list-style-type: none"> エンジンオイル交換 エンジンオイルフィルタ交換 燃料フィルタ交換
1,000時間	<ul style="list-style-type: none"> ファイナルドライブオイル交換 (初期交換は250時間) 作動油リターンフィルタ交換 (初期交換は500時間)
3,000時間	<ul style="list-style-type: none"> 作動油交換
12,000時間	<ul style="list-style-type: none"> ラジエータ冷却水交換

Cat Linkテクノロジーがリアルタイムデータを提供



Cat Linkテクノロジーであるテレマティクス(Product Link)とクラウドサービス(VisionLink, MY.CAT.COM)の連携により、マシンデータを提供します。様々な現場で稼働するすべての保有車両に関する情報を作業現場規模や車両ブランドに関わらず、リアルタイムにご提供します。

PRODUCT LINK™

車両位置、稼働情報、燃料消費量、アラート、休車時間などのマシンデータをクラウドサービスに発信します。Product Link(テレマティクス)は、標準装備されています。

VISIONLINK®

オンラインのインターフェースであるVisionLinkの活用により様々なマシンデータを一括表示された情報として閲覧できます。アウトプットデータの活用により、従来と比べ保有車両の機械管理が容易になり、車両情報に基づいた状況判断ができます。

MY.CAT.COM

My.Cat.Comは、お客様のフリートマネジメントをサポートするデジタルハブサービスです。車両リストを編集することで、Catブランド以外の保有車両も含め、予防整備スケジュールや、点検記録(Cat Inspect)、整備記録などの情報に一括アクセスできます。

充実の装備

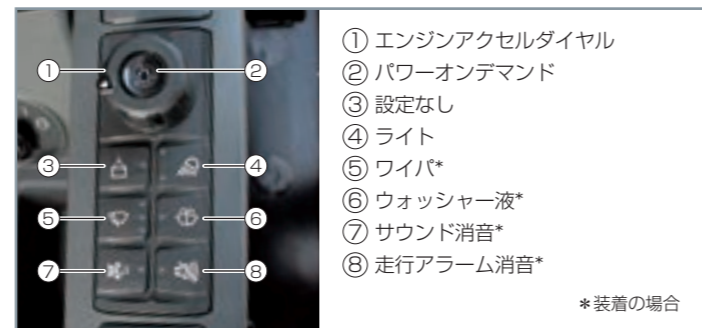


見やすく使いやすいカラー液晶モニタ

車両の状態、各種設定を一目で把握できるカラー液晶モニタを搭載。モニタ下部の操作ボタンスイッチで各種設定が可能です。



操作パネル



より使い易く、より幅広い作業に

ブレードフロート機能

ブレードの自重を利用した整地作業が、簡単なレバー操作で行なえます。



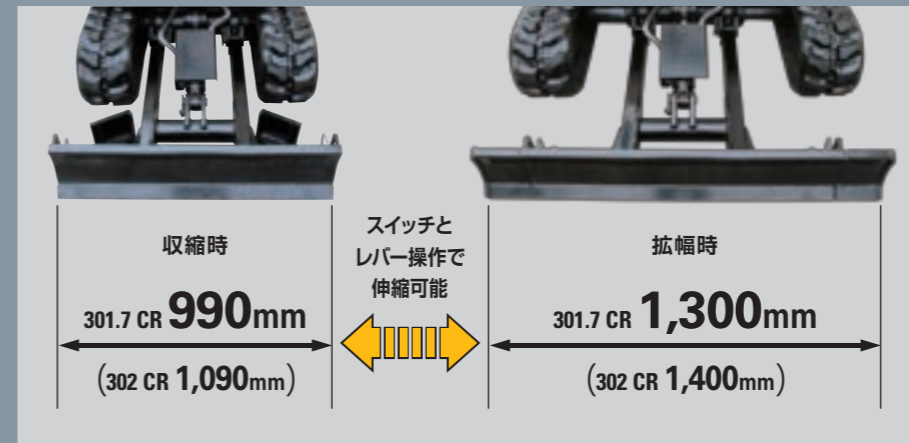
ブーム背面シリンダ

ブームシリンダをブームの背面に設置。ダンプ積み時や荷をかかえ込む姿勢でシリンダの損傷を気にすることなくスムーズな作業が可能です。



クローラ幅機構

クローラ幅を変更でき、狭い現場への進入性と作業時の安定性を両立しました。302 CRはオプションです。



フロント部への配管を内装化

フロント部への配管を内装化し、油圧ホースの損傷を防ぎます。アタッチメント配管もブーム中央部まで内装化しています。



より安全で快適な操作空間を提供する ROPS キャノピ&ROPS キャブ (オプション)

油圧ショベルの転倒時運転者保護構造 (ISO 12117-2) 規格に適合。4柱タイプROPSキャノピとワイドなROPSキャブをオプションでご用意しています。

ROPSキャノピ



クラス初のエアコン搭載ROPSキャブ (302 CR)



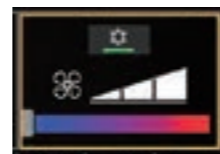
●スライド式フロントガラス

フロント下面ガラスは、短時間で安全に開閉できるスライド式を採用。取り外しの手間が掛からず、脱着時のガラスの破損やケガを防ぎます。フロントガラスを全開にする際は、上面ガラスと一体で格納できます。



●エアコン

風量や温度はモニタ、ジョグダイヤルで設定できます。



モニタ部エアコン画面

使い勝手をサポートする装備



パスコードスタート

モニタへのパスコード入力でのエンジン始動。セキュリティを高めま



ブームスイング用スライドスイッチ

左ジョイスティックレバーのスライドスイッチで操作できます。



アームレスト

高さ調整可能で最適な運転姿勢を確保します。



プッシュエンジンスタート (オプション)

Bluetooth キーにより、プッシュエンジンスタートが可能で、簡単スタートと高いセキュリティ性を確保します。



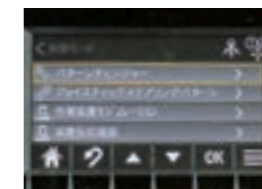
折り畳み式走行ペダル

走行ペダル操作をしない時は、折り畳んで足元スペースを確保できます。



グリスガンホルダ (ソフトキャノピ)

ソフトキャノピ仕様にはシート背面にグリスガン収納スペースを設置しました。



4way コントロールパターンクイックチェンジャ

操作パターンの切換えがモニタで可能。運転席で容易に変更できます。



アタッチメント配管 (オプション)

スライド右親指スイッチでの操作が可能。また、右足ペダル付の操作パターンも選択できます。流量調整機能、コンティニューアスフロー機能付です。

パッケージ

●: 標準装備(バケット選択要) ○: オプション - : 装着不可

仕様内訳	301.7 CR			302 CR				
	MR2SV	MS2SV	MR2RV	MR2S	MS2S	MR2SV	MR2R	MR2C
ブーム	標準アーム ラバーベルト ソフトキャノピ 拡幅	標準アーム 鉄シュー ソフトキャノピ 拡幅	標準アーム ラバーベルト ROPSキャノピ 拡幅	標準アーム ラバーベルト ソフトキャノピ 固定脚	標準アーム 鉄シュー ソフトキャノピ 固定脚	標準アーム ラバーベルト ソフトキャノピ 拡幅	標準アーム ラバーベルト ROPSキャノピ 固定脚	標準アーム ラバーベルト ROPSキャノピ ROPSキャブ(A/C) 固定脚
ブーム	1,780mmブーム	●	●	●	-	-	-	-
	1,850mmブーム	-	-	-	●	●	●	●
アーム	960mm標準アーム	●	●	●	●	●	●	●
	1,160mmロングアーム	○	○	○	○	○	○	○
バケット (新JIS)	0.03(0.02)m ³ / 300mm幅	○	○	○	○	○	○	○
	0.044(0.038)m ³ / 450mm幅	●	●	●	○	○	○	○
	0.06(0.05)m ³ / 500mm幅	-	-	-	●	●	●	●
足回り	230mmラバーベルト	●	-	●	-	-	-	-
	230mmダブルグローサシュー	-	●	-	-	-	-	-
	250mmラバーベルト	-	-	-	●	●	●	●
	250mmダブルグローサシュー	-	-	-	●	-	-	-
	拡幅機構	●	●	●	-	-	●	-
	固定脚	-	-	-	●	●	●	●
運転席	ソフトキャノピ	●	●	-	●	●	-	-
	ROPSキャノピ	-	-	●	-	-	●	-
	ROPSキャブ(エアコン付)	-	-	-	-	-	-	●
アタッチメント 配管	スライド右親指スイッチ/右足ペダル操作	○	○	○	○	○	○	○
	スライド右親指スイッチ操作	○	○	○	○	○	○	○
キー	標準キー(バスターコードエンジンスタート機能付)	●	●	●	●	●	●	●
	セキュリティーキー(Bluetoothキー)	○	○	○	○	○	○	○
	プッシュエンジンスタート(Bluetoothキー付)	○	○	○	○	○	○	○
ライト	ブーム右ライト(ハロゲン、ガード付)	●	●	●	●	●	●	●
	ブーム右ライト(LED、ガード付)	○	○	○	○	○	○	○
	運転席ライト(LED) 上部フロント2灯	-	-	○	-	-	○	○
	運転席ライト(LED) 上部フロント2灯、リア1灯	-	-	○	-	-	○	○
その他	4Wayコントロール/パターンクイックチェンジャ	●	●	●	●	●	●	●
	プロダクトリンクPL243	●	●	●	●	●	●	●
	ディスコネクトスイッチ	●	●	●	●	●	●	●
	走行アラーム	○	○	○	○	○	○	○
	フロントフルガード(ポリカーボネート製)	-	-	○	-	-	○	○
	左右サイドミラー	-	-	○	-	-	○	●
	工具	●	●	●	●	●	●	●

オプションの同時装着につきましては、販売店にお問い合わせください。

主な標準装備品

- 作業機スピード&レバー反応速度調整
- スティックステア&クルーズコントロール
- パワーオンデマンド
- オートアイドル(自動デセル)
- オートアイドルリングストップ
- クローラ拡幅機構(301.7 CR)
- 運転席チルトアップ機能
- 走行自動2速
- ブレードフロート機能

- 960mmアーム
- 0.044(新JIS 0.038)m³/450mm幅バケット:301.7 CR
- 0.06(新JIS 0.05)m³/500mm幅バケット:302 CR
- カラー液晶モニタ
- エンジンアクセルダイアル
- バスターコードエンジンスタート
- 4Wayコントロール/パターンクイックチェンジャ(モニタ切替)
- ローバック、ピニールシート

- 巻込み式シートベルト
- 高さ調整付アームレスト
- 折り畳み式走行ペダル
- メンテナンスフリーバッテリー
- 残光機能付ブーム右ライト(ハロゲン、ガード付)
- ディスコネクトスイッチ
- プロダクトリンク PL243

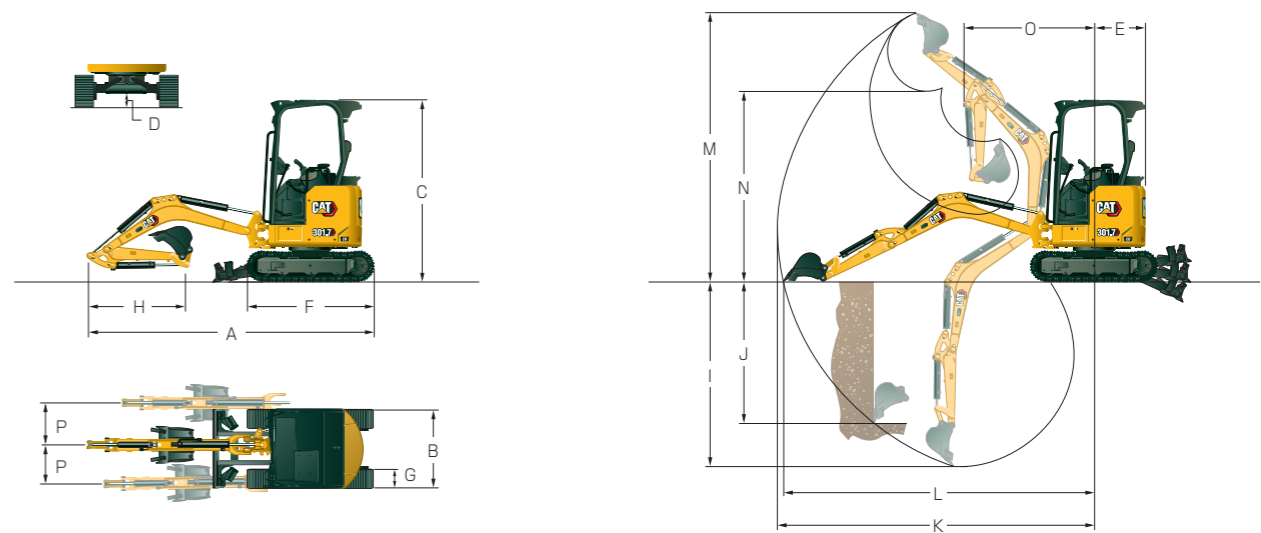
主なオプション

- クローラ拡幅機構(302 CR)
- 1,160mmロングアーム
- 0.03(新JIS 0.02)m³/300mm幅バケット:301.7 CR/302 CR
- 0.044(新JIS 0.038)m³/450mm幅バケット:302 CR

- アタッチメント配管
流量調整機能&コンティニューアスフロー機能
操作パターン(①②から選択)
①スライド右親指スイッチ/右足ペダル操作
②スライド右親指スイッチ操作
- プッシュエンジンスタート(Bluetoothキー付)
- セキュリティーキー(Bluetoothキー)

- 残光機能付ブーム右ライト(LED、ガード付)
- 運転席ライト(LED) 上部フロント2灯
- 運転席ライト(LED) 上部フロント2灯、リア1灯
- 走行アラーム
- フロントフルガード
(ROPSキャノピ/キャブ用ポリカーボネート製)
- 左右サイドミラー(ROPSキャノピ用)

主要諸元/作業範囲



機種	301.7 CR		302 CR			
	ソフトキャノピ、ラバーベルト、拡幅式クローラ		ソフトキャノピ、ラバーベルト、固定脚			
機械質量	kg		1,830			
機体質量	kg		1,420			
標準バケット容量(新JIS)	m ³		0.044 (0.038)			
標準バケット幅	mm		450 (サイドカッタ含む)			
掘削力	アーム	kN	9.4			
	バケット	kN	16.0			
	輸送時					
寸法	A 全長	mm	3,620			
	B 全幅	mm	990			
	C 全高	mm	2,350			
	D 最低地上高	mm	140			
	E 後端旋回半径	mm	650			
	F クローラ全長	mm	1,590			
	B クローラ全幅	mm	990 (収縮時) / 1,300 (拡幅時)			
	タンブラ中心距離	mm	1,230			
	履帯中心距離	mm	760 (収縮時) / 1,070 (拡幅時)			
	旋回速度	min ⁻¹ (rpm)	9.8			
走行速度[高速/低速]	km/h	4.4 / 2.9				
登坂能力	度	30				
足回り	G シュー幅	mm	230			
	接地圧	kPa	29.8			
エンジン	名称	Cat C1.1ディーゼルエンジン				
	総行程容量	L	1.1			
	定格出力/回転数	kW/min ¹ (rpm)	14.1 / 2,400			
容量	燃料タンク(軽油)	L	22			
	ハイドロリックオイル(全量)	L	26			
	エンジンオイルパン	L	4.4			
	冷却水	L	3.9			
作業範囲	H アーム	標準アーム(960mm)	ロングアーム(1,160mm)	標準アーム(960mm)	ロングアーム(1,160mm)	
	I 最大掘削深さ	mm	2,390	2,590	2,350	2,550
	J 最大垂直掘削深さ	mm	1,890	1,990	1,770	1,850
	K 最大掘削半径	mm	4,010	4,170	4,350	4,520
	L 床面最大掘削半径	mm	3,940	4,110	4,270	4,440
	M 最大掘削高さ	mm	3,470	3,520	4,000	4,100
	N 最大ダンプ高さ	mm	2,450	2,470	2,740	2,850
	O フロント最小旋回半径	mm	1,650	1,640	1,800	1,790
	O フロント最小旋回半径(スイング時)	mm	1,400	1,400	1,520	1,520
	P 最大オフセット量	mm	左: 440 / 右: 585		左: 500 / 右: 650	
	ブームスイング角	度	左: 65 / 右: 50		左: 65 / 右: 50	
	最大トラック外側掘削幅	mm	左: 175 / 右: 315	左: 20 / 右: 160	左: 45 / 右: 195	
	ブレード	幅	mm	990 (収縮時) / 1,300 (拡幅時)		1,400
高さ		mm	210		210	
最大上昇量/最大下降量		mm	270 / 265		375 / 325	

Cat製品、ディーラサービス、業種別ソリューションの詳細については、www.cat.comをご覧ください。

AJHQ8317-01

© 2020 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の車両には、オプション装備品が装着されていることがあります。装着可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それぞれの各ロゴ、"Caterpillar Yellow"、"Power Edge"、Cat "Modern Hex"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkはTrimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

